

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社向日葵 ひまわりっこ			
○保護者評価実施期間	2025 年 10 月 20 日 ～ 2025 年 11 月 30 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2025 年 10 月 20 日 ～ 2025 年 11 月 15 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・地域の保育園との交流会の参加 ・会社内の事業所間での情報共有がスムーズに行える	・月に1度、地域の保育園を訪問し園児と一緒に時間を過ごし活動している。 ・社内の他事業所を利用している利用児さんの様子や情報共有がスムーズに行える。	・開所して間がない為、さらに充実を図るために検討している。 ・今後も継続して情報共有を行っていく。
2	・重度心身障がい児通所施設の為、開所日には必ず常勤看護師が1名以上常駐している ・リハビリ職員による個別のリハビリ実施	・シフト制勤務の為、常勤看護師の休みが重ならないよう勤務調整を行っている。 ・利用児の体調管理を行い異常の早期発見に努めている。 ・個々に合った計画を立てリハビリ職員が実施している。 ・利用児さんの訪問リハビリの先生と連携をとらせてもらっている。	・利用児の増加も見込まれる為、常勤看護師の増員を検討していく。 ・今後も継続して体調管理を行い、異常の早期発見に努めていく。 ・今後も継続して連携をとらせてもらい、利用児さんの身体の状態を把握しケアにつなげていく。
3	・お楽しみ会、茶話会を年に1度、企画し開催している	・年に1回程度、茶話会を事務所で開催して保護者さんが交流を持てる場を設けている。 ・年に1度お楽しみ会を企画して利用児さん、保護者さんきょうだい児さん達が参加して楽しんでもらえる様なイベントを開催している。	・今後も継続して茶話会、お楽しみ会の企画、開催をしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動スペースが狭い	・建物の構造上、1階スペースでの生活、活動が主になるが1階スペースが利用児さんの人数によるが狭い。	・スペースを確保する為、物品の配置等を考えながら安全に楽しく過ごせるように配慮しながら支援を行っている。 ・安全に配慮しながら支援を行っているが活動スペースが広くとれる所への移転が必要と考えられる。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	株式会社向日葵 ひまわりっこ
------	----------------

公表日 年 月 日

利用児童数 令和 7 年 12 月 6 日 7 名 回収数 6 名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	2	1	1	1階スペースが狭いと思う。	1階の活動スペースも狭いため物品の 配置等を考えながら広く使える様に 支援を行っている。移転が必要。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			2		1階の活動スペースも狭いため物品の 配置等を考えながら広く使える様に 支援を行っている。移転が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6					

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		1		不定期ではあるが訓練は実施している。実施した際には保護者にも発信していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6			送迎時の本人の表情で楽しさが伝わってきます。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6			いつもきめ細やかな対応に感謝でいっぱいです。 ありがとうございます。	ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
株式会社向日葵 ひまわりっこ		2025 年 12 月 5 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	利用人数によっては狭く、スペースを確保するため物品の配置等を考えながら、安全に過ごせる様に支援している	安全に配慮しながら支援を行っているが活動スペースが広くとれる所へ移転が必要と考えられる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	勤務調整を行っているが不足している日もあり他教室より応援を依頼する日もある	医療ケア児が多いため夕方の送迎に添乗できる看護師の補充が必要と考えられる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	建物の構造上、階段やバリアフリーでない所がある為、安全に配慮しながら日々の支援を行っている	安全に配慮しながら支援を行っているが活動スペースが広くとれる所へ移転が必要と考えられる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		生活空間は細目に清掃を行い心地よく過ごせる環境を整えている	今後も継続していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	現状、1階のスペースでは難しく、2階に上がることになり、安全に配慮しながら行っている	安全に配慮しながら支援を行っているが活動スペースが広くとれる所へ移転が必要と考えられる
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		朝礼、終礼を行い当日のスケジュールや振り返りを行っている	今後も継続していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的に面談や、お楽しみ会、茶話会を開催して保護者の意向等を把握する機会を設けている	今後も継続していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的に面談や、ミーティングを行い職員の意見を聞く機会を設けている	今後も継続していく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	契約時、保護者に説明し、市役所と連携をとっている	今後も継続していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		施設内研修や携帯での動画研修、希望者には外部研修への参加も確保されている	今後も継続していく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	事業所内で行った支援や、その日の様子を連絡帳や口頭、きつずノートでお伝えしている	今後も継続していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		半年に一度、保護者と面談でアセスメントを行い、支援の見直しと計画の更新を行っている	今後も継続していく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定期的なミーティング等で意見交換をしている	今後も継続していく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画はカルテにあり、いつでも職員が確認、共有できる様になっており、それに基づいて支援を行っている	今後も継続していく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	日々の記録や観察を行いアセスメントと照らし合わせて確認しながら行っている	今後も継続していく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインに沿って計画を立てて家族にも確認してもらっている	今後も継続していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		日々、職員で考えながら立案している	今後も継続していく

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		日々、職員で考えながら立案している	今後も継続していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		一人ひとりの利用児に沿った個別活動や集団活動を取り入れ支援計画を作成している	今後も継続していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼を行い、その日の支援内容と担当を決めて確認してから支援を行っている	今後も継続していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		必ず終礼を行い、振り返りや連絡事項の確認を行い共有している	今後も継続していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の記録は必ず担当した職員がカルテに記入して残している	今後も継続していく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に一度面談しモニタリングを行い見直しと計画の更新を行っている	今後も継続していく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		相談支援事業所が開催する担当者会議には参加している	今後も参加していく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		常に連携が取れる体制はできている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	現在、対象児の情報共有は行っていないが要請があった場合は対応していく準備はできている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	現在、対象児の情報共有は行っていないが要請があった場合は対応していく準備はできている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	常に連携が取れる体制はできている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		近くの認定こども園と月一回交流を持たせて頂いており一緒に活動する機会がある	今後も継続して交流を持たせていただく予定である
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時に口頭でお伝えしたりきつずノートで配信している	今後も継続していく
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	研修の機会や情報が事業所に流れてきた時は保護者に情報共有を行っている	今後も継続していく
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用契約時に児童発達支援管理責任者より説明し理解を得ている	今後も継続していく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		子どもさんからの聞き取りは難しいがご家族様からの意向等の聞き取りを行う機会は定期的に設けている	今後も継続していく

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		計画の更新時にお伝えして同意を得ている	今後も継続していく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的に面談を行い悩み等の相談にも応じている。面談以外でもいつでも相談に応じることは伝えている	今後も継続していく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		毎年お楽しみ会を行っており、その際に保護者同士の交流する機会や茶話会等を行い、その時にきょうだい同士の交流する機会を設けている	今後も継続していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		現在、申し入れはないが体制は整えている	今後も継続していく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	毎月のお便り等で教室の様子や来月の予定などをお知らせしている。HPでも不定期ではあるが情報を発信している	今後も継続していく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		契約時に書面でも了承頂いて、日々の活動、生活の中でも留意しながら行っている	今後も継続していく
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個人情報同様に配慮しながら日々の活動生活の支援を行っている	今後も継続していく
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	現状、招待等は行ってはいないがいつでも見学等、受け入れる準備はできている	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルはあり、定期的に訓練も行っている。実施した際には保護者にもお知らせしている。	今後も継続していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	現在、BCPの見直しと計画の更新を行っており今後も継続して定期的に見直しを行い訓練も実施していく予定。	訓練は行っているが、見直し作成中のため計画更新確定した後、訓練も実施していく予定。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認しているが服薬は変更時にてんかん発作や予防接種時も連絡を頂ける様に保護者に伝えている。	今後も継続していく
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約時に確認してカルテに印を付けてわかりやすくしており、職員に共有している。指示書に従い対応している。	今後も継続していく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画はあるが、研修、訓練は開所して間がない為、まだ不十分な面もある。	今後、計画を確実なものにして研修、訓練を行って安全安心の中で支援が行えるようにしていく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		現在、計画を見直し作成中で確定した後保護者に周知していく。	確定した後周知していく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		会社全体で共有して再発防止の方法を検討している	今後も継続していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	委員会も定期的に開催されているが現在、研修会はしていない。	今後は委員会主催の研修会を開催していく必要があると考えられる
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		拘束については計画にも記載し、保護者にも同意を得ている。書面も作成している。計画更新時に見直しを行っている。	今後も継続していく